陣峰市民の森に暮らす野鳥

種　名	備	考	種　名	備	考
アオゲラ	△		サンコウチョウ	△	夏
アオジ	△	夏	サンショウクイ	▼	夏
アオバズク	▼	夏	シジュウカラ	◎	
アカゲラ	◎		シメ	▼	冬
アトリ	○	冬	ジュウイチ	▼	夏
イカル	▼		ジョウビタキ	△	冬
ウグイス	◎		センダイムシクイ	○	夏
ウソ	○		ツグミ	○	冬
エナガ	◎		ツツドリ	△	夏
オオタカ	▼		トビ	◎	
オオマシコ	▼	冬	トラツグミ	△	
オオヨシキリ	▼	夏	ノジコ	△	
オオルリ	○	夏	ノスリ	◎	
オシドリ	▼		ハクセキレイ	◎	
オナガガモ	▼	冬	ハシブトカラス	◎	
カイツブリ	◎		ハシボソカラス	◎	
カケス	◎		ヒガラ	△	
カシラダカ	○	冬	ヒバリ	◎	
カッコウ	○	夏	ヒヨドリ	◎	
カルガモ	◎		フクロウ	○	
カワセミ	△		ホオアカ	△	
カワラヒワ	◎		ホオジロ	◎	
キクイタダキ	○		ホトトギス	○	夏
キジバト	◎		マガモ	△	冬
キセキレイ	△		マヒワ	○	冬
キビタキ	◎	夏	ミソサザイ	○	
クマタカ	▼		メジロ	◎	
クロツグミ	○	夏	モズ	◎	
コガモ	▼	冬	ヤブサメ	◎	夏
コガラ	○		ヤマガラ	◎	
コゲラ	◎		ヤマセミ	▼	
コサメビタキ	○	夏	ヤマドリ	◎	
ゴジュウカラ	△		ヨタカ	△	
サシバ	◎	夏	（五十音順）		

◎：繁殖している鳥　△：時々見られる鳥
○：よく見られる鳥　▼：まれに見られる鳥
夏：夏鳥　冬：冬鳥

陣峰市民の森は、生活環境保全林整備事業により、美しい郷土の自然を守り、すぐれた森林をつくるとともに、市民のみなさんが自然の中で、緑を通じて心のふれあいをひろめる場として造成されたものです。

山頂の陣ヶ峯（標高323.9m）からは、鳥海山・月山はもとより、市内を展望することができます。

芝生広場

問い合わせ先
新庄市役所農林課
〒996-8501　山形県新庄市沖の町10－37
TEL　0233－22－2111
http://city.shinjo.yamagata.jp/

陣峰市民の森の野鳥

シジュウカラ

ウグイス

ノスリ

カイツブリ

シメ

ウソ

山形県新庄市

野鳥たちが、陣峰市民の森で一番にぎわいを見せるのは、夏鳥で最後にやってくる「ホトトギス」や「カッコウ」が鳴き始める初夏です。その頃、留鳥の「シジュウカラ」や「ヤマガラ」、「コゲラ」等は子育てを始めています。

陣峰市民の森では６７種の野鳥を観察しています。

夏鳥

サシバ、サンショウクイ、サンコウチョウ、クロツグミ、ヤブサメ、オオヨシキリ、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、ホトトギス、カッコウ

冬鳥

マガモ、コガモ、オナガガモ、ツグミ、カシラダカ、マヒワ、アトリ、オオマシコ、シメ、ジョウビタキ

漂鳥

カイツブリ、ヒバリ、ウソ、キクイタダキ、ウグイス、コガラ、ヒガラ、メジロ、カワラヒワ

留鳥

トビ、ノスリ、ヤマドリ、フクロウ、カワセミ、アカゲラ、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、カケス、ハシブトガラス、ハシボソガラス

アカゲラ

繁殖期、幹や枝を嘴でつつき大きな連続音を発しているのが聞かれます。

キジバト

デデッポッポーと鳴き、腹から出るような低い声はフクロウと間違われます。

シジュウカラ

巣箱をよく利用する鳥で、４月に入るとにぎやかにさえずります。

ホオジロ

繁殖期、木の天辺で「一筆啓上仕り候」とさえずります。車道沿いでよく見ます。

オオルリ

日本三鳴鳥のひとつとなっていて、美しいさえずりが５月中旬から６月に聞かれます。

キビタキ

木の中段が好きな鳥で、林の中を飛ぶ虫をフライングキャッチして食べています。

ジョウビタキ

雪が解け出し土が見える頃、カッ、カッと鳴きながら虫を探す姿に逢います。

ヤマドリ

ドドドという大きな羽音が聞かれ、山道を横切る姿も度々見られます。

カワセミ

飛びながらチーッと鳴き、ひょうたん池や付近の沼で見られます。

コゲラ

ギィーッ、ギィーッと鳴き、秋から冬はカラの仲間と行動を共にしています。

情報・写真提供：笹原孝雄氏（山形県野鳥愛護会最北支部）